

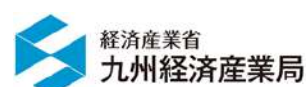
第21回 九州・大学発ベンチャー・ ビジネスプランコンテスト 報告書



九州のチカラここに集結!

2022年3月

九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会



目 次

ページ

1. ごあいさつ ～ 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト開催によせて ～（実行委員長 貫 正義）	1
2. コンテストの概要	2
(1) 事業の目的 (2) 実施体制 (3) 最終審査会までの主なスケジュール及び実施概要(結果)	
(4) 最終審査会 (5) 全国大会等	
3. 審査基準及び表彰基準等	6
(1) 審査基準 (2) 会場審査投票 (3) 表彰基準	
4. 審査委員のご紹介	8
5. 応募状況 及び 審査段階別進出状況等（結果）	12
6. コンテストの結果	15
7. 全国大会の結果（キャンパスベンチャーグランプリ、起業家甲子園）	20
8. コンテストの模様	22
9. 基調講演	24
10. 受賞者のビジネスプラン（事業計画書）※太字氏名は、代表者。「優秀賞」は、発表順・事業名省略。	25
《 グランプリ 》 3D モデルを用いた医療支援	
長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 鬼塚 俊佑	26
《 九州経済産業局長賞 》 twelS	
佐賀大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 小嶋 恒	29
《 九州経済連合会長賞 》 地域薬局同士の医薬品不動態在庫二次流通システム「ヤクカリ」	
長崎大学 薬学部 薬学科 李 明恩	32
《 N I C T 賞 》 AR 技術を活用したダイバー育成のための研磨手順表示システム	
北九州工業高等専門学校 専攻科 生産デザイン工学専攻 代表：笛 凌太郎	35
《 優 秀 賞 》 ※コンテスト時 発表順	
・九州大学大学院 経済学府 産業マネジメント専攻 代表：鬼崎 美緒	39
・北九州工業高等専門学校 専攻科 生産デザイン工学専攻 代表：岡部 唯人	43
・宮崎公立大学 人文学部国際文化学科 代表：森山 陸	47
・筑紫女学園大学 現代社会学部 現代社会学科 代表：帆足 有香	50
・立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 代表：伊藤 愛留	54
・熊本大学 工学部 材料応用化学科 代表：五木 結愛	58
11. 全応募プラン概要	61
12. 告知物 等	67
13. 実行委員会について	72

1. ごあいさつ ～ 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト開催によせて ～

九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

実行委員長 貫 正義

(一般社団法人 九州ニュービジネス協議会 会長)

(九州電力株式会社 相談役)



みなさん、こんにちは。実行委員長を務めております九州ニュービジネス協議会会長の貫でございます。まずは、今回応募いただいた22校54チームから、ここまで勝ち抜いてこられた10チームのみなさん、そしてここまでチームを育てられた先生方をはじめ、関係者の皆様には心からの敬意を表させていただきます。加えて、年末の大変お忙しい中、会場にお越しいただいた先生や学生の皆様、協賛いただいた企業や支援団体の皆様、審査いただく委員の皆様、さらにはYouTubeでご覧いただいている皆様、誠にありがとうございます。

さて、去る12月6日、岸田首相は所信表明演説において、「新しい資本主義の下での成長」戦略として、官と民が共に役割を果たし、協働して成長のための大胆な投資を行うと宣言されました。その中では、科学技術によるイノベーションを推進し、地域の中小企業と連携した大学発ベンチャーの創出にも取り組むとしています。まさに本年21回目を迎えた九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストの意義は高まっており、新しい資本主義の一端を担うものとして、新しい第一歩を踏み出したと言っても過言ではないと思います。

さて、本日はこれからグランプリ、九州経済産業局長賞、九州経済連合会長賞、NICT賞等を目指して、戦っていただきます。グランプリ受賞チームは、2022年1月28日開催の「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」へ出場し、経済産業大臣賞や文部科学大臣賞等を受ける機会を得ることになります。また、NICT賞受賞のチームは、同3月8日開催の「起業家甲子園」全国大会への挑戦権を獲得し、その後、出場権を獲得した場合に、総務大臣賞をはじめ、資金調達や大企業との事業提携の機会等を得ることになります。いずれも九州から全国に羽ばたく大きなチャンスであります。ちなみに、昨年度グランプリの宮崎大学のチームが、全国大会で審査委員会特別賞を受賞し、NICT賞の有明高専チームが、起業家甲子園において協賛企業特別賞を受賞するなど、いずれも優秀な成績を収められました。また九州からは、これまで歴代の受賞者をはじめとして、多くの皆様が起業家として成功されているのは皆様ご承知の通りでございます。

ところで、昨年度は新たな試みとして、当コンテストに寄与頂いた先生方や支援者の皆様に表彰する支援部門賞を新設しました。本年度は、これに加えて新たに「協賛企業等特別賞」を用意致しました。

この賞は、その名称の通り、協賛企業や協力団体の皆様から提供いただいた賞で、勝ち抜いてこられたチームの皆様と企業・団体の皆様との連携強化を図るとともに、学生の皆様の更なるモチベーションアップの一助として設定させていただきました。

さて、昨年度はコロナ禍への対応のため、コンテストでのプレゼンテーションは「3分動画」で行っていただきました。本年度も2次審査会では「3分動画」による審査を行いました。本日の最終選考会につきましては、このステージ上での生のプレゼンテーションを復活いたします。やり直しはないプレゼンとなりますので、学生の皆様には是非とも全力を出し切り、悔いのない戦いをお願い致します。本日のコンテストでは、勝ち抜くことは大事ですが、それに加え、ライバルチームのプレゼンの中や審査委員の質問や助言の中から、これからの飛躍に向けてのヒントを掴むことも更に重要と思います。

私ども実行委員会、そして九州ニュービジネス協議会といたしましても、本日出場の各チームが今後どう成長していくかについては、しっかりと見守って参る所存でございます。

最後になりましたが、本日出場の皆様、また、YouTubeでご視聴の皆様におかれましては、本日この壇上で戦う若者たちがこれからの日本を担う起業家へと成長するよう、共に支援していただきますようお願い申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。10チームの皆さん、頑張ってください。

令和3年12月18日

2. コンテストの概要

(1) 事業の目的

新たなベンチャーの創出により、我が国経済を活性化させることが求められている情勢の中、『知の創造』拠点としての大学等には多くの研究成果等が蓄積されている。こうした九州地域の大学等に眠るシーズの発掘と育成を図り、多くのイノベーション(技術革新)を生み出すことを目的に、大学生・高専生を中心とした若者が創造能力とチャレンジ精神を養うための事業計画書(ビジネスプラン)を作成し、自ら考え解決して行く能力とプレゼンテーション能力を養成する場を提供する。

「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」は、例年2月に東京で開催される「**キャンパスベンチャーグランプリ全国大会**(主催：日刊工業新聞社)」の九州大会(予選)も担っています。

また、2019年度から国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と連携、「**起業家甲子園(全国大会)**」挑戦権が獲得できる「NICT賞」を新設。例年3月に東京で開催される同大会予選の位置づけとなりました。

(2) 実施体制

【主催】九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会

経済産業省 九州経済産業局、福岡県、福岡市、(一社)九州経済連合会、(独)中小企業基盤整備機構九州本部、日刊工業新聞社西部支社、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(一社)九州ニュービジネス協議会

【共催】九州・大学発ベンチャー振興会議

【協賛・協力】九州電力(株)、(株)QTnet、(株)ストライク、(株)西日本シティ銀行、西日本プラント工業(株)、(株)福岡銀行、(株)アピカル、EY新日本有限責任監査法人、WASHハウス(株)、SGインキュバート(株)、(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ、(株)延寿館、(株)大分銀行、学校法人君が淵学園 崇城大学、九州高圧コンクリート工業(株)、九州旅客鉄道(株)、九鉄工業(株)、九電産業(株)、(株)九南、税理士法人くまで会計事務所 古賀マネージメント総研(株)、西部ガスホールディングス(株)、(有)坂本石灰工業所、三和酒類(株)、(株)ジオクラスター、(株)テクノホールディングス、有限責任監査法人トーマツ、(株)豊川設計事務所、西日本鉄道(株)、日本ゼオライト(株)、(株)博運社、(株)はせがわ、PwCあらた有限責任監査法人、廣田商事(株)、(株)フラウ、(株)Branches、レイナ(株)、(株)ワールドホールディングス、(株)九電工、(株)シティアスコム、(株)隼斗、福岡ひびき信用金庫、(株)宮崎銀行、(株)やずや、(株)池田工業、九州自動車リース(株)、(株)筑邦銀行、大阪中小企業投資育成(株)、(株)コーホー部、(株)佐世保玉屋、(株)サニククリーン九州、如水監査法人、如水税理士法人 けやき通り会計事務所、白垣木材(株)、(株)ディアマインド、(株)七尾製菓、(株)日商保、(株)風月堂、(株)福岡商店、(株)ふくや、まごころM&Aパートナーズ(株)、米良電機産業(株)、QBキャピタル(同)、ジャフコグループ(株)、(株)電通九州、(株)ドーガン・ベータ、(株)日本政策金融公庫、藤岡国際特許事務所(順不同)

【後援】佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、熊本日日新聞社、大分合同新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社、日本弁理士会九州会

(3) 最終審査会までの主なスケジュール及び実施概要(結果)

本年度も昨年度に引き続き、新型コロナ禍のため、さまざまな場面で例年と異なる形での実施を余儀なくされたものの、新たな取り組みにもチャレンジしました。

○ プラン募集

募集期間：2021年7月12日(月)～9月24日(金)

- ・ チラシ、インターネット、日刊工業新聞紙上などで告知を実施。
- ・ 新型コロナ禍を受け、厳しい環境にありましたが、ご了承いただいた主な大学・高専については、訪問を実施。訪問できない箇所の一部については、Web 会議サービス(Zoom)によるリモートでの説明・意見交換を行いました。

○ ビジネスプラン作成講座

開催日時：2021年9月2日(木) 15:00～17:30

(募集期間：2021年8月2日(月)～8月29日(日))

開催場所：福岡市スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」(福岡市中央区大名2-6-11)
より Web 会議システム(Zoom)によりリモート開催

受講者：10校・33名(うち指導者等5名)

概要：① 事業計画作成のポイント解説

〔講師〕 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部

中小企業アドバイザー 佐々木 茂 氏（株式会社ジャンクション 代表取締役）

- ・ 佐々木氏より、ビジネスプランのつくり方、マーケティングや売上、利益計画の立て方など、事業計画・起業をするための基礎知識を講義いただきました。
- ・ チームに分かれて、企業事例によるケーススタディや質疑応答も実施しました。
- ・ また、「3分動画」作成のポイントについても取り上げました。

② 経験者は語る ～ 2020 年度 コンテスト各賞受賞者による座談会 ～

〔登壇〕 宮崎大学 農学部 応用生物科学科 西迫 政人 氏〈2020 年度 グランプリ 受賞〉※

大分大学 理工学部 創生工学科 原 久乃 氏〈2020 年度 九州経済産業局長賞 受賞〉

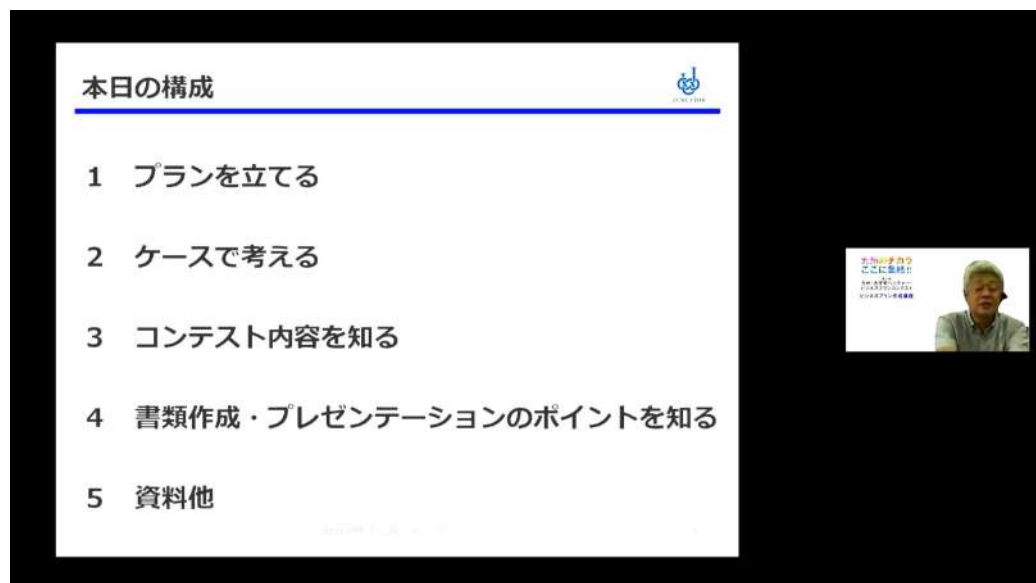
宮崎公立大学 人文学部 国際文化学科 今西 美澪 氏〈2020 年度 九州経済連合会長賞 受賞〉

有明高専 創造工学科 情報システムコース 磯村 直矢 氏〈2020 年度 NICT 賞 受賞〉※

※西迫氏は、2020 年度「第 17 回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」において、「審査委員会特別賞」を受賞、磯村氏は、2020 年度「起業家甲子園（全国大会）」において、6 つの「協賛企業特別賞」を受賞。

〔司会〕 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部 佐々木 茂 氏

- ・ 昨年度初めて実施、好評を得たコンテスト経験者による座談会を今年も開催しました。
- ・ 今回は、昨年度（2020 年度）のコンテスト受賞者 4 名の皆様にリモートにて参加いただき、コンテストの経験談や現在の状況などについてお話いただきました。
- ・ 経験者ならではの体験エピソードなど、いずれのお話也非常に興味深く、受講した学生のみなさんからは、コンテストへの意欲が沸いた、もっとお話が聞きたかったといった声が寄せられました。



ビジネスプラン作成講座の様様

○ 第 1 次審査会（書類審査）

開催日時：2021 年 10 月 18 日（月） 14:00 ～ 15:30

開催場所：Web 会議（Zoom）により実施

- ・ 8 団体で組織する「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会」（運営部会）メンバーにて審査会を実施。
- ・ 応募総数 54 プランの中から、審査基準により事前に各メンバーが行った書類審査の結果をもとに、審査会当日に審議を行い、第 2 次審査進出プラン 26 チームを選出。
※第 1 次審査通過 26 チームを選定後、1 チームが都合により第 2 次審査辞退のため、次点チームを繰上げ）

○ 第2次審査会（プレゼンテーション／3分動画審査）

開催日時：2021年11月6日（土） 9:30 ～ 17:30

開催場所：九州経済連合会 会議室（電気ビル共創館 6階）より Zoom によるリモート審査

- ・ 第1次審査通過者のうち26プランが会場。
- ・ 新型コロナ禍を受け、会場での対策（手指消毒の徹底、マスク着用、パーティション設置など）を講じるとともに、下記の取り組みを行いました。
 - ① リモート審査：来場は、審査委員・関係者のみとし、発表者とは Web 会議サービス（Zoom）でつなぎ、リモートで審査。（例年は、参加者全員が会場参集）
 - ② 3分動画：「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」にあわせ、出場学生が予め制作した3分動画により発表。（例年：パワーポイントを使用し会場で発表）
 - ③ ライブ配信：審査会の模様を YouTube でライブ配信（限定公開）。
- ・ 古賀審査委員長以下、審査委員9名により審査を行いました。（審議部分には、NICT メンターの(株)jig.jp 取締役会長・福野泰介様もリモートでご参加）
- ・ 発表のあと、審査委員の審議により10プランを選出しました。



第2次審査会の模様

(4) 最終審査会

■ 開催日時 2021年12月18日（土）

13:00 ～ 17:50

■ 会 場 ももち浜SRPホール（福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル2階）

【第1部】開会式・プレゼンテーション

13:00 ～ 15:53

- ・ 主催者挨拶：九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行委員長 貫 正義
（一般社団法人九州ニュービジネス協議会 会長・九州電力(株) 相談役）
- ・ プレゼンテーション（ファイナリスト10プランの発表（5分））及び質疑応答

【第2部】基調講演 「地方・地域・暮らしからアプローチする事業機会と成長機会」

～ 宮崎で取り組む学生起業支援 ～ 16:05 ～ 16:55

〔講 師〕国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部 准教授
宮崎・学生ビジネスプランコンテスト 統括

土屋 有 氏

【第3部】表彰式

17:05 ～ 17:50

《表 彰》 グランプリ 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行委員長 貫 正義
九州経済産業局長賞 経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長 佐藤 二三男
九州経済連合会長賞 (一社)九州経済連合会 産業振興部長 成島 修三※
※ 同・参事 嶋田 哲郎 が代理登壇
NICT 賞 株式会社 jig.jp 取締役会長(NICT メンター) 福野 泰介
優 秀 賞 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行副委員長 石堂 隆史
協賛企業等特別賞 各賞提供企業・団体の代表者

《講 評》 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 審査委員長 古賀 光雄
(古賀マネジメント総研(株) 代表取締役社長)

▶ 最終審査会 概要

- ・ ファイナリスト 10 プランが会場。
- ・ 会場でのプレゼンテーション（5 分）を復活。質疑応答（8 分）実施。
（昨年度（2020 年度）は、新型コロナ禍を受け、発表は事前収録の「3 分動画」を採用）
- ・ 一般傍聴者の来場も復活。昨年度から始めた YouTube でのライブ配信も実施。
- ・ 古賀審査委員長以下、9 名※の審査委員により各賞を決定。 ※専門審査委員会
- ・ NICT 賞は、NICT メンターの専門審査委員（株jig.jp 福野会長）により決定。
- ・ 7 つの企業・団体のご協力により、「協賛企業等特別賞」を新設。
- ・ 表彰結果
（詳細 15～19 ページ）

グランプリ	1 プラン
九州経済産業局長賞	1 プラン
九州経済連合会長賞	1 プラン
NICT 賞	1 プラン
優秀賞	6 プラン
協賛企業等特別賞《新設》	7 賞設定 ※他賞と重複
→ 九州電力グループ賞、J R九州グループ賞、西部ガスグループ賞、	
ストライク賞、西鉄グループ賞、日本弁理士会九州会会長賞、F F G賞	
支援部門賞	2 名
- ・ 例年開催の会場投票、新型コロナ禍及びこれを受けた入場者数制限により中止。
- ・ コンテスト終了後の交流会を復活。新型コロナ感染防止の観点から、対策を講じつつ、別室には移動せず、会場である ももち浜 SRP ホール にて実施。

(5) 全国大会等 （結果詳細は、20～21ページ）

○ キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

〔審査会〕開催日時：2022 年 1 月 28 日（金）13:30 ～ 17:30 ※非公開

開催場所：日刊工業新聞本社会議室より Web 会議システム（Teams）でリモート開催

〔表彰式〕開催日時：2022 年 2 月 14 日（月）13:30 ～ 15:30 ※非公開

開催場所：霞山会館（東京・霞が関コモンゲート西館 37 階）より Web 会議システム（Teams）によりリモート開催

- ・ 例年、同大会の審査会と表彰式は、同じ日に東京で行われているが、昨年度に続き、今回も新型コロナ感染拡大防止の観点から、別日に開催。
- ・ いずれも Web 会議システム（Teams）で会場と学生をつなぎ、リモートで実施。
- ・ 総計 792 のエントリーのあった全国 8 地区（北海道、東北、東京、名古屋、大阪、中国、四国、九州）の地区大会を勝ち抜いた 12 プランが会場。
- ・ 新型コロナ禍を受け、本年度も出場者が制作した「3 分動画」によるプレゼンテーションを採用。これを審査委員が予め視聴し、審査当日は、登壇者によるピッチ(1 分)と質疑応答(5 分)により審査。
- ・ 「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」で「グランプリ」受賞の長崎県立大学・鬼塚俊佑氏が出場。

○ 起業家甲子園（全国大会）

開催日時：2022 年 3 月 8 日（火） 13:00 ～ 16:30

開催場所：丸ビルホール&コンファレンススクエア（東京・丸の内 丸ビル 7・8 階）

- ・ 全国各地の予選（連携コンテスト等）から選ばれた 9 プランがプレゼンテーション（メンターによる紹介 1 分・発表 7 分・質疑 4 分）
- ・ 昨年度に引き続き、審査委員及び関係者のみの来場によるリモート開催。インターネット配信サービス（エムキャスト）での全国同時配信。
- ・ 「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」で「NICT 賞」を獲得した北九州高専・代表 笛凌太郎氏のチームが会場。パートナー企業特別賞「ソフトバンク賞」を受賞。

3. 審査基準及び表彰基準 等

(1) 審査基準

「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」審査基準

ビジネスプランコンテストにおいて、ビジネスプランの選考にあたっては、以下の要領で行うものとする。評点は、採点表に各審査委員がビジネスプランごとに採点記入する。評価項目は以下3項目とし、簡便化のため5段階評価をする（5点、4点、3点、2点、1点）。

1 評価項目

- (1) 新規性・革新性・優位性 : 事業アイデア・コンセプト自体の新規性・革新性・優位性。
- (2) 実現可能性・市場性 : ビジネスプランの事業化への可能性、市場性。
- (3) 表現力 : 書類、プレゼンでの表現力、説得力。事業化するにあたっての考え方。

2 評価基準

評点の目安としては、各項目3点を標準とし、非常に優れているものを5点、優れているものを4点、いま一步を2点、最も低い評価を1点とする。いずれも採点表のとおり評価基準を設けるが、あくまでも目安で、各審査委員の経験及び他の案件との相対的な評価から出た判断で差し支えないものとする。

評価項目	採 点	評価基準（あくまでも目安を例示したもの）	
1. 新規性・革新性 ・ 優位性	点	5	事業アイデア等の新規性、優位性も大変高い。
		4	事業アイデア等の新規性、優位性も高い。
		3	事業アイデア等の新規性、優位性も普通である。
		2	事業アイデア等の新規性、優位性も普通よりやや劣る。
		1	事業アイデア等の新規性、優位性がなく劣る。
2. 実現可能性 ・ 市場性	点	5	近々（2年以内）、事業化が可能であり、市場性も大変大きい。
		4	5年後には事業化できる可能性があり、市場性も大きい。
		3	計画が具体的に煮詰まっているが、起業には今一步で、市場性も普通である。
		2	計画が具体的に策定できておらず、市場性が見極めが普通より甘い。
		1	単なるアイデアであり、市場性もない。
3. 表現力	点	5	表現力、説得力が十分にあり、起業家としての意識も大変高い。
		4	表現力、説得力があり、起業家としての意識も高い。
		3	表現力、説得力、起業家としての意識は普通である。
		2	表現力、説得力、起業家としての意識は普通よりやや劣る。
		1	表現力、説得力、起業家としての意識は低い。

3 選定

- (1) 一次審査は書類審査により、二次審査(プレゼンテーション)を行うプランを選定する。
各審査員が上記審査基準に基づき、採点を行った後協議により決定する。
- (2) 二次審査はプレゼンテーション審査により、コンテストにおける最終発表プランを6プラン程度選定する。各審査員が上記審査基準に基づき、採点を行ったのち、協議により決定する。
- (3) コンテストはプレゼンテーション審査により、各賞を選定する。
 - ・専門審査員が上記審査基準に基づき採点を行った後、会場審査の採点結果も参考にしながら、協議により各賞を決定する。
 - ・表彰は、グランプリ1件、九州経済産業局長賞1件、九州経済連合会長賞1件、優秀賞数件程度とする。

4 コンテストにおける会場審査について

- (1) 全発表プランを聴講する参加者に限り、会場審査を行うことができる。
- (2) 「自分が応援したいと思うプラン」を3件選び投票する。それを各1点で計算する。
- (3) 会場審査の結果は、専門審査員の協議の参考資料として取り扱う。

(2) 会場審査投票

例年、最終審査会を傍聴された参加者を対象に会場審査投票を実施していますが、本年度は昨年度から続く新型コロナ禍を受け、一般の方の入場者数を制限したため、実施しませんでした。

(3) 表彰基準

表彰区分	件数	表彰基準
グランプリ (表彰状・賞金30万円)	1件	コンテストの審査において、新規性、実現化など、最も評価の高いプラン
九州経済産業局長賞 (表彰状・賞金10万円)	1件	コンテストの審査において、グランプリに次いで、とくに優秀なプラン
九州経済連合会長賞 (表彰状・賞金8万円)	1件	コンテストの審査において、グランプリに次いで、優秀なプラン
優秀賞	数件	コンテストの審査において上記各賞に該当しないが、優秀と認めるプラン

※ 「NICT賞」(「起業家甲子園(全国大会)」挑戦権)については、上記審査基準によらず、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の基準により派遣された専門審査委員により選考し、表彰を行う。

その他の表彰について

上記以外に特別賞として、以下の表彰を設定

■「協賛企業等特別賞」【本年度新設】

企業や団体の皆様との連携の強化を図るとともに、コンテスト後のフォローや学生の皆様のさらなるモチベーションアップの一助として設定。今回は、7つの企業・団体の皆様にご協力いただきました。

〔本年度設定賞〕 九州電力グループ賞(九州電力株式会社)、J R九州グループ賞(九州旅客鉄道株式会社)、西部ガスグループ賞(西部ガスホールディングス株式会社)、
ストライク賞(株式会社ストライク)、西鉄グループ賞(西日本鉄道株式会社)、日本弁理士会九州会会長賞(日本弁理士会九州会)、
FFG賞(株式会社ふくおかフィナンシャルグループ) ※提供企業・団体名称順

■「支援部門賞」【2020年度新設】

エントリーする学生の支援を通して、コンテストにおいて顕著な実績を上げ、起業家育成の基盤づくりに貢献されている支援者・指導者を表彰。「グランプリ」受賞者の支援者、コンテストに功績のある支援者・指導者)

4. 審査委員のご紹介

＜敬称略、委員長以外 50 音順＞
※役職等情報は、2021.12.18 最終審査会時点

① 審査委員長【第 2 次審査、最終審査】

古賀マネージメント総研株式会社 代表取締役社長 古賀 光雄



1984 年(S59) 公認会計士登録
1977 年(S52) 等松・青木監査法人(現 監査法人トーマツ) 入所
1995 年(H 7) トーマツ コンサルティング株式会社代表取締役
1997 年(H 9) トーマツ・ベンチャーサポート株式会社設立、代表取締役
2012 年(H24) 古賀マネージメント総研株式会社設立、代表取締役
2015 年(H27) ニッポン新事業創出大賞経済産業大臣賞
(支援部門・最優秀賞) 受賞

トーマツ在職時から九州でのベンチャー支援に取り組む。
退職後も古賀マネージメント総研株式会社を創立し、トーマツで築き上げた
ネットワークを活用してベンチャー支援を行っている。

② 審査委員【第 2 次審査】

西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 部長
SG インキュベート株式会社 代表取締役社長 相川 洋



1966 年長崎県五島市生まれ。
1989 年太陽神戸銀行(現三井住友銀行)、2008 年十八銀行を経て、2019 年
西部ガス(株)GVC である SG インキュベート(株)設立に参画。2020 年 同社代表
取締役社長に就任。
銀行員時代は融資業務、事業承継、M&A、資産流動化などのほか、地域活性
化を目的としたファンドの設立・運営に取り組む。
現在、世の中・人のためになる優良投資先の発掘に日々邁進中。

③ 審査委員【最終審査】

株式会社 テノ.ホールディングス 代表取締役 池内 比呂子



1959 年 4 月 2 日生まれ 長崎県大村市出身
外資系企業に入社し結婚後に退職。
家庭総合サービス会社を設立。
2005 年に現在の社名にし、事業所内保育所や認可保育園、育児支援サービスを
展開する。2020 年 11 月に東証マザーズと福証 Q-Board から東証 1 部と福証に
市場変更。

④ 審査委員【第 2 次審査、最終審査】

株式会社 電通九州
インテグレートッド・ソリューション局 局長
兼 新規ビジネス開発室長 小野 和美

日本経済新聞社、外資系広告会社勤務を経て U ターンし、1997 年から
(株)電通九州に勤務。一貫してマーケティング、戦略プランニング、プラン
ディング等に携わる。2020 年より新規ビジネス開発室長を兼務。九州
のポテンシャルを見だし、つなぎ、ともに成長することを目指して、産
学官連携やスタートアップ支援、クライアントの新規事業サポートなど
ビジネスプロデュースを推進中。



⑤ 審査委員【最終審査】

株式会社 Branches 代表取締役 権藤 光枝

1973 年生まれ。1996 年届出保育施設キッズワールドを開園。2006 年に有限会社として法人化し、英語の保育園を含む届出保育施設を展開。2015 年より小規模保育事業などの認可事業に参入し、2016 年に株式会社へ組織変更。その後、訪問看護ステーションの開設や企業主導型保育事業所の受託を行い、“すべての人が優しさと強さに包まれ、愛情に満ちた世界へ。”というビジョンを掲げ、現在も各事業の展開を続けている。



⑥ 審査委員【最終審査】

QB キャピタル合同会社 代表パートナー 坂本 剛

大手・ベンチャー企業を経験し、2004 年から九大知的財産本部において大学発ベンチャー支援を行う。2010 年に産学連携機構九州代表取締役に就任。2015 年に QB キャピタルを設立し QB1 号ファンド(約 31 億円) 組成。2021 年には QB2 号ファンドを組成し、九州地域の大学発ベンチャーへの投資・支援活動を行なっている。現職のほか、福岡ベンチャークラブ理事、エディア(マザーズ上場)社外取締役、Kyulux (九州大学発ベンチャー) 社外取締役、ひむか AM ファーマ (宮崎大学発ベンチャー) 社外取締役、事業構想大学院大学 福岡キャンパス 特任教授等を務める。



⑦ 審査委員【最終審査】

ジャフコ グループ株式会社 パートナー

西日本担当 兼 ビジネスディベロップメント担当 佐藤 直樹

1992 年日本合同ファイナンス(株) (現ジャフコグループ(株)) 入社以来一貫して前線での投資 EXIT 活動に従事。スタートアップ投資からバイアウト型投資まで多種多様な案件に関わり、IPO のみならず、大企業との資本提携、M&A を数多く手掛け、ジャフコのベンチャーキャピタルとしての有り様をブラッシュアップしてきた。2018 年パートナー就任。現在西日本エリアの投資管掌と、投資先のバリューアップ専門部隊を統括



⑧ 審査委員【最終審査】

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長 佐藤 二三男

1981 年通商産業省 (現経済産業省) 入省。その後、中小企業庁経営支援課企画官 (人材担当)、同 財務課税制企画調整官、同 経営安定対策室長を経て 2020 年 8 月より現職。

⑨ 審査委員【第 2 次審査】

九州電力株式会社 コーポレート戦略部門
インキュベーションラボ長 永原 聖也

1990 年九州電力入社。経営企画本部、コーポレート戦略部門を経て、2020 年 7 月から現職。



⑩ 審査委員【第2次審査】

西日本鉄道株式会社

新領域事業開発部 部長 林田 安弘

西日本鉄道(株)自動車技術部門に入社。自動車全般のメンテナンスに関する実務経験の後、2004年西日本車体工業(株)品質保証部長、2009年西鉄エムテック(株)北九州工場長を歴任。2013年西鉄車体技術(株)取締役時にはEVバスの改造に携わる。2018年西日本鉄道(株)経営企画部を経て2020年4月より現職



⑪ 審査委員【最終審査】

株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー 林 龍平

住友銀行、シティバンク、エヌ・エイを経て、ドーガン参画。主にベンチャー支援業務に取り組む。4本総額52億円のベンチャーファンド立ち上げを行い、これまでに約40件の投資を行ったほか、起業家支援のためのシリコンバレー型コワーキングスペース「OnRAMP」を開設、地元起業家のコミュニティ形成支援を行っている。

⑫ 審査委員【第2次審査】

九州旅客鉄道株式会社

執行役員事業開発本部企画部長 福澤 広行

1989年 九州旅客鉄道(株) 入社
2002年 同 事業開発本部開発部開発課副課長
2005年 同 企画課長
2009年 長崎ターミナルビル(株) 常務取締役
2011年 博多ターミナルビル(株) 常務取締役
2014年 JR九州ファーストフーズ(株) 代表取締役社長
2018年6月より現職。



⑬ 審査委員【第2次審査】

日本弁理士会九州会 藤岡 靖和

(藤岡国際特許事務所 所長・弁理士)

2002年～ 九州最大手の特許事務所に勤務
2004年 弁理士試験合格
2005年～ 株式会社ニコン 知的財産本部にて特許出願部門・企画部門・和解金数百億円獲得の特許訴訟プロジェクトメンバーなどを兼任
2017年～ 九州大学 准教授／知的財産部門長として特許ライセンス収入1億円超(前年度から倍増)に寄与
2019年～ 藤岡国際特許事務所を設立
大企業・中小企業・ベンチャー企業から請われ、上述の経験を活かした支援を行っている。

⑭ 審査委員【第2次審査】

日本政策金融公庫 国民生活事業 福岡創業支援センター
所長 宮本 大資

1998年(H10) 国民金融公庫 (現日本政策金融公庫) 入庫
以降 福岡西支店、久留米支店、本店に勤務
創業/第2創業、事業承継、ソーシャルビジネス、事業再生など 営業・融資審査担当
2015年(H27) 松江支店 融資課長
2018年(H30)4月より現職。





⑮ 審査委員【第2次審査、最終審査】
株式会社 FFGベンチャービジネスパートナーズ
取締役副社長 山口 泰久

1986 年日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行、2006 年行内ベンチャーとして VC を設立し、本邦初の知財ファンドの運用開始。DBJ キャピタル(株)取締役等を歴任。2017 年 5 月、株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズに移籍し、「九州・大学発ベンチャー振興会議」と連携する FFG ベンチャーファンド（総額 100 億円）の運用を担当し、大学発ベンチャーの育成を行っている（JST・START プログラム代表事業プロモーター）。2019 年 4 月に「九州オープンイノベーションファンド」を設立し投資委員を兼任。

■ 「NICT 賞」選考

○ NICT・ICT メンタープラットフォーム メンター 株式会社 jig.jp 取締役会長 福野 泰介

福井高専卒業後にフリープログラマー、2 社の創業を経て、株式会社 jig.jp を設立。当時モバイルサイトしか見られなかった携帯電話向けに、パソコン用サイトを閲覧可能とする世界初のダウンロード型のフルブラウザ「jig ブラウザ」を開発。本店がある福井県鯖江市で、こどもやシニア向けのプログラミング講座、自治体オープンデータの先駆け「データシティ鯖江」とそれを活用する団体「Code for Sabae」などを手がけている。こどもパソコン「IchigoJam」開発者。政府 CIO 任命、オープンデータ伝道師。「新型コロナウイルス対策ダッシュボード」を開発し、情報化促進貢献個人等表彰にて経済産業大臣賞を受賞。

現職：株式会社 jig.jp 取締役会長

略歴：国立福井工業高等専門学校電子情報工学科 卒業

有限会社シャフト 取締役 CTO

有限会社ユーエヌアイ研究所 代表取締役社長



5. 応募状況及び審査段階別進出状況（結果）

九州7県及び沖縄県の20大学（大学院を含む）、2高専の合計22校から合計54件の応募があった。

■ 県・学校別 応募状況（代表者）

	応募件数		
	今回	昨年度	前年比
総 計	54	43	+11
福 岡	16	15	+1
有明工業高等専門学校		1	▲1
北九州工業高等専門学校	2	1	+1
北九州市立大学	1	2	▲1
九州国際大学	1		+1
九州産業大学	1		+1
九州大学（大学院含む）	2		+2
西南学院大学	1		+1
九州共立大学		1	▲1
近畿大学	2	3	▲1
筑紫女学園大学	3	3	0
日本経済大学	2	1	+1
福岡女学院大		1	▲1
福岡大学	1	2	▲1
佐 賀	1	1	0
佐賀大学（大学院含む）	1	1	0
長 崎	15	10	+5
佐世保工業高等専門学校	6	3	+3
活水女子大学			0
長崎県立大学	5	6	▲1
長崎総合科学大学			0
長崎国際大学			0
長崎大学（大学院含む）	4	1	+3
大 分	8	6	+2
大分大学（大学院含む）	4	5	▲1
立命館アジア太平洋大学	4	1	+3
熊 本	7	3	+4
熊本高等専門学校		1	▲1
熊本県立大学	3	2	+1
熊本大学（大学院含む）	4		+4
崇城大学（大学院含む）			0
宮 崎	5	8	▲3
宮崎産業経営大学			0
宮崎公立大学	1	1	0
宮崎大学（大学院含む）	4	7	▲3
鹿児島	1	0	+1
鹿児島大学（大学院含む）	1		+1
沖 縄	1	0	+1
沖縄国際大学	1		+1

● 応募状況について

- ・ 応募件数 54件 （対前年 + 11 件）
- ・ 応募校数 22校 （対前年 + 3 校）
- 〔増加〕 + 7 九州国際大、九州産業大、九州大、西南学院大、熊本大、鹿児島大、沖縄国際大
- 〔減少〕 ▲ 4 有明高専、九州共立大、福岡女学院大、熊本高専

● 共同提案者の所属大学（代表者がいない学校のみ抽出）

- ・ 桜美林大学 ・ 東北大学 ・ 立命館大学

▶ 概 況

- ・ 応募総数は、新型コロナ禍で落ち込んだ昨年度の43件から54件（+11件）と例年並みに回復（2019年度実績55件）。応募校数は、歴代2位（過去最高は、2012年度の25校）。
- ・ 共同提案型プラン、複数大学で構成したチームの応募もさらに増加。
- ・ 福岡地区：全体としては+1件と微増だったが、応募復活校が複数あった。
- ・ 長崎地区：長崎ビジコンの取り組みが奏功。対前年+5件と大きく増加。
- ・ 大分地区：立命館アジア太平洋大が対前年+3件と大きく増加。
- ・ 熊本地区：熊本大学の応募復活、応募数4件と大きく増加。
- ・ 宮崎地区：宮崎ビジコンのカリキュラム充実。応募は減少。
- ・ 鹿児島地区：鹿児島大からの応募復活。
- ・ そのほか：4年ぶりに沖縄からの応募あり。

■ 県・学校別 応募件数及び審査段階別結果

	応募件数	第1次審査	第2次審査	最終審査結果
		(2次進出)	(最終進出)	
総 計	54	27	10	
福 岡	16	9	4	
北九州工業高等専門学校	2	2	2	【N】1・【優】1
北九州市立大学	1			
九州国際大学	1	1		
九州産業大学	1	1		
九州大学（大学院含む）	2	1	1	【優】1
西南学院大学	1			
近畿大学	2			
筑紫女学園大学	3	2	1	【優】1
日本経済大学	2	1		
福岡大学	1	1		
佐 賀	1	1	1	
佐賀大学（大学院含む）	1	1	1	【局】1
長 崎	15	4	2	
佐世保工業高等専門学校	6	1		
長崎県立大学	5	1	1	【G】1
長崎大学（大学院含む）	4	2	1	【連】1
大 分	8	6	1	
大分大学（大学院含む）	4	3		
立命館アジア太平洋大学	4	3	1	【優】1
熊 本	7	1	1	
熊本県立大学	3			
熊本大学（大学院含む）	4	1	1	【優】1
宮 崎	5	5	1	
宮崎公立大学	1	1	1	【優】1
宮崎大学（大学院含む）	4	4		
鹿児島	1	1	0	
鹿児島大学（大学院含む）	1	1		
沖 縄	1	0	0	
沖縄国際大学	1			

※2次審査進出1件辞退

▶ 最終審査結果欄：【G】グランプリ 【局】九州経済産業局長賞
【連】九州経済連合会長賞 【N】NICT賞 【優】優秀賞

■ 応募プランの分野別分類（複数回答あり）

No.	分 野	応募数	構成比	順 位
1	新製造技術	1	1.0%	12
2	新エネルギー・省エネルギー（省力化含む）	1	1.0%	12
3	バイオテクノロジー		0.0%	—
4	環境・リサイクル・産業廃棄物処理	9	8.6%	5
5	住宅	1	1.0%	12
6	災害支援	2	1.9%	10
7	生活文化・生活支援・新サービス・アミューズメント	22	21.0%	1
8	医療・福祉	12	11.4%	3
9	物流・流通	4	3.8%	9
10	人材活用	10	9.5%	4
11	情報・通信（インターネット関連含む）	21	20.0%	2
12	ビジネス支援	9	8.6%	5
13	食品・農林水産品	5	4.8%	8
14	加工・製造技術		0.0%	—
15	観光資源	6	5.7%	7
16	その他	2	1.9%	10

● 分野別分類について

- ・ 傾向としては、大きな変化はないものの、「医療・福祉」が伸びた一方で、「人材・活用」がシェア減少。
- ・ 複数項目該当プラン、特に「情報・通信」（アプリ等）との重複がさらに増加。
- ・ SDGsの注目を背景に、例年1〜3件程度の「環境・リサイクル」関連が9件8.6%と大きく伸びている。

【参考】近年の応募状況（県別・学校別応募数の推移）ならびに受賞歴

凡例：★グランプリ ○九州経済産業局長賞 ◆九州経済連合会長賞 ●優秀賞 ☆NICT賞（2019～2021年度）◇NEDO特別賞（2017年度）

■ 全国大会(キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 等)での受賞

(単位：件)

年 度	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
総 計	49	49	47	48	54	43	51	56	65	52	63	55	43	54
福岡	有明高専	◎ 1	● 2	● 2	1		4			● 1			★ 1	
	北九州高専		◎ 1	◆ 1	1	★◎ 4	★◎ 5	● 4	●● 5	◎ 3	● 3	●● 3	● 1	★● 2
	北九州市立大	★ 1				2	● 1		1	1	◎ 3	1	2	1
	九州共立大		2	2				1	1	1			1	
	九州工業大	1					1	2	1	1				
	九州国際大					1	● 1	1						1
	九州産業大	● 6	12		● 6	7	2							1
	九州情報大					2	1					1		
	九州大		1	★◆ 3	2	● 3	1		◆● 3	◇●● 8	◆●●● 11	● 1		● 2
	近畿大			1		1	1	1	1	1	3		3	2
	久留米工業大				1	◆ 1	1							
	久留米高専	★ 1	2											
	久留米大					1	2	1						
	産業医科大			★ 1										
	西南学院大		1	3	6	3	2	3	1		1	1		1
	筑紫女学園大学												● 3	● 3
	中村学園大	● 1												
	日本経済大		1										1	2
	福岡工業大			● 1				1	1					
	福岡歯科大									1				
	福岡女学院大					1	● 1	● 1		● 2	● 1		● 1	
	福岡大	◎● 7	● 7	● 10	3	1							2	1
	早稲田大				3	1						1		
佐賀	佐賀女子短期大							1						
	佐賀大	5		1	2	● 2		● 4	1		1	★ 2	● 1	◎ 1
長崎	活水女子大											1		
	佐世保高専									4	2	7	3	6
	長崎県立大		1	1		7			4	3	6	4	6	★ 5
	長崎国際大			1						1	★ 2			
	長崎総合科学大											1		
	長崎大	● 6	3	● 4	◎ 5		2	4	4	8	1		● 1	◆ 4
大分	大分県立芸術文化短期大							★ 1						
	大分短期大					1								
	大分大	7	7	3	2	★◎ 4	● 4	3	5	1	● 2	4	◎● 5	◎● 5
	日本文理大	1		1	1	2	1	● 1						
	立命館アジア太平洋大	● 14	3	1	1	1	1		1				1	● 4
熊本	熊本学園大			1	1	3	1							
	熊本県立大		●●● 6	6	● 6	● 3	1		3	4	3	2	2	3
	熊本高専			1	● 1	4	◆ 6	◆ 8	5	11	6	8	3	1
	熊本大						7	8	◎ 7	1	1	1		● 4
	崇城大		● 2					6	◆● 9	★●● 16	5	7	◆ 5	
	東海大		1			1	1							
宮崎	宮崎公立大												1	● 1
	宮崎産業経営大				1	1	1		1		1	2		
	宮崎大		1						1	★◆ 8	4	★●● 13	★◆● 7	4
鹿児島	鹿児島県立短期大		1											
	鹿児島国際大							4	3					
	鹿児島大		1		2	● 2	● 3	1	1	◎● 3	1	2	1	1
他	沖縄国際大													1

☆☆☆ キャンパスベンチャーグランプリ全国大会等での受賞実績 ☆☆☆

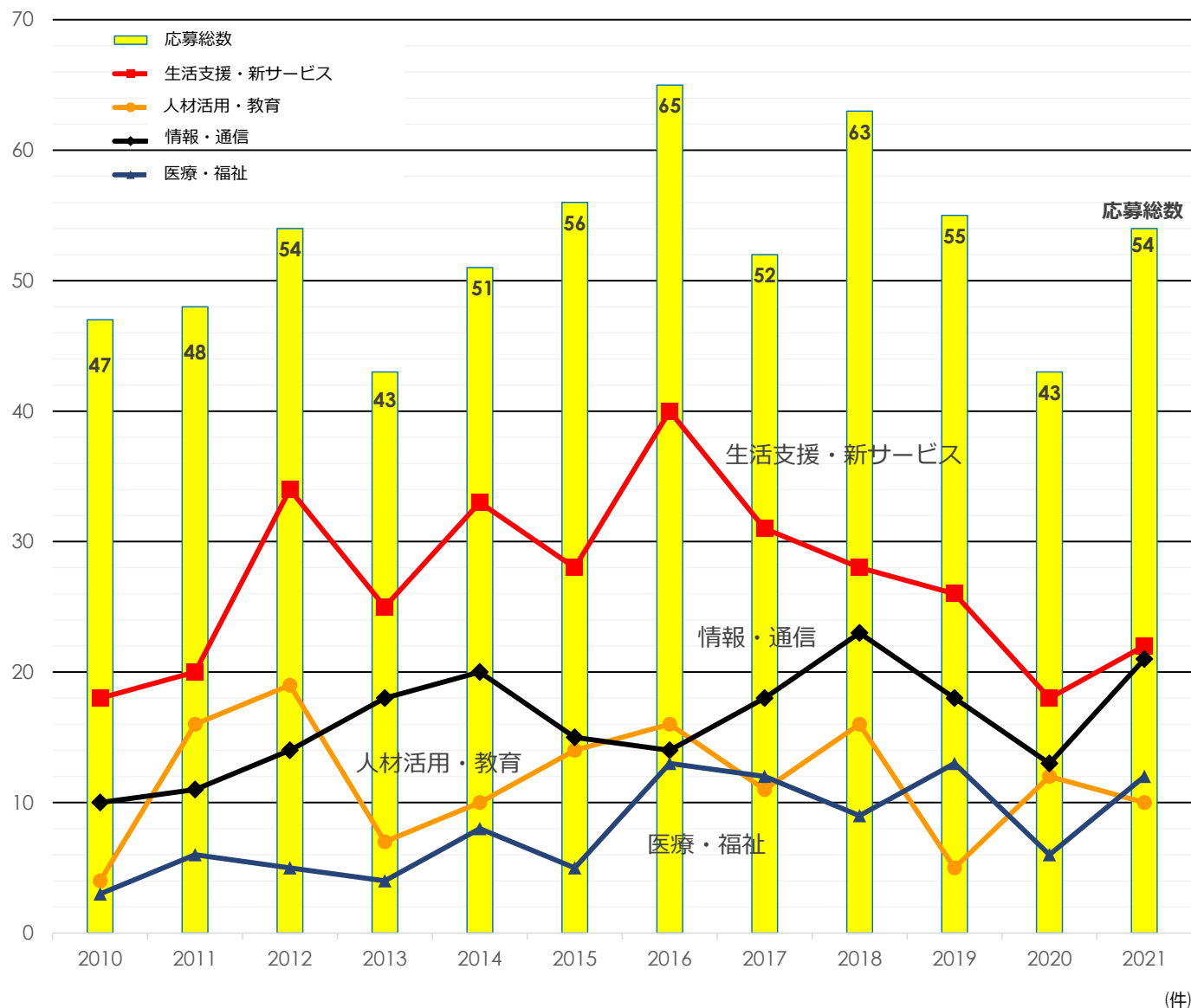
※ 学校名は各県50音順 各県50音順

- ・ 2021(R 3) [起業家甲子園] パートナー企業特別賞(ソフトバンク賞) / 北九州高専
- ・ 2020(R 2) 審査委員会特別賞 / 宮崎大 [起業家甲子園] 協賛企業特別賞6賞* / 有明高専
* アイ・オー・データ賞、インフィニオン賞、クラウドワークス賞、セブテニグループ賞、ソフトバンク賞、三菱電機賞
- ・ 2019(R 1) 経済産業大臣賞(ビジネス大賞) / 佐賀大
[起業家甲子園] 審査委員特別賞(準グランプリ) / 宮崎大、特別賞(EO Tokyo賞・NEC賞) / 崇城大*
- ・ 2018(H30) 審査委員特別賞 / 長崎国際大

- ・ 2017(H29) 文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞) / 宮崎大 [NEDO TCP2017] 認定VC賞 他 / 九州大
- ・ 2016(H28) 文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞) / 崇城大、日刊工業新聞社賞 / 鹿児島大
- ・ 2014(H26) 特別賞(MIT賞) / 北九州高専
- ・ 2012(H24) 文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞) / 大分大
- ・ 2010(H22) 特別賞(マイクロソフト賞) / 九州大
- ・ 2008(H20) 文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞) / 北九州市立大
- * 2019起業家甲子園における崇城大学は、「崇城大学ビジネスアカデミー」代表として出場・受賞

【参考】近年の応募状況（応募数と分野の推移）

- 本年度も傾向としては、例年と大きな変化はないものの、「医療・福祉」が伸びた一方で「人材活用・教育」のシェアが減少した。
- 今回の応募プランは、例年に比べ内容が多岐にわたり、昨年増加した新型コロナ禍を意識したプランは減少した。
- SDGsへの注目を背景に、例年1〜3件程度の「環境・リサイクル」関連が9件8.6%と大きく伸びた。
- 複数の項目に該当するプラン、特にアプリケーションを中心に「情報・通信」と他分野の重複プランがさらに増加。とくに「生活文化・生活支援・新サービス・アミューズメント」と「情報・通信」の重複が多く見受けられた。



年 度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
応募総数（九州島内）	47	48	54	43	51	56	65	52	63	55	43	54
応募プランの分野別分類（複数回答あり）												
生活支援・新サービス	18	20	34	25	33	28	40	31	28	26	18	22
人材活用・教育	4	16	19	7	10	14	16	11	16	5	12	10
情報・通信	10	11	14	18	20	15	14	18	23	18	13	21
医療・福祉	3	6	5	4	8	5	13	12	9	13	6	12
ビジネス支援	6	4	14	14	4	5	8	9	7	6	5	9
食品・農林・水産品	5	1	11	6	4	7	8	2	6	6	6	5
加工製造技術	1	2	2	1	1	11	8	3	7	1	0	0
観光資源	3	6	8	5	4	10	6	8	4	7	4	6
新製造技術	2	1	3	1	2	3	4	1	3	0	2	1
環境リサイクル	4	5	5	2	4	5	4	4	4	1	3	9
住宅	1	1	1	0	1	1	4	3	5	2	4	1
災害支援	0	2	1	2	2	2	2	4	6	1	2	2
新（省）エネルギー	0	1	5	1	2	1	1	1	2	1	0	1
バイオテクノロジー	0	1	2	0	1	1	1	2	2	3	0	0
物流・流通	4	0	4	3	3	4	1	2	4	4	3	4
その他	2	3	1	1	0	0	3	0	4	2	0	2

6. コンテストの結果

☆ グランプリ

(副賞：30万円)

「第17回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」出場

■ 長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 鬼塚 俊佑 さん

「3Dモデルを用いた医療支援」



医療関係者、特に整形外科医師向けに3DCT画像から3Dモデルを作成、3Dプリンターで印刷、配送するサービス。手術シミュレーションがよりやり易くなるだけでなく、患者にも術前説明がわかりやすく不安軽減に繋がる。医療従事者は、大きさに関わらず定額でモデルを入手可能。Web上から3Dモデルを操作できる月額性サービスも提供。

★ 九州経済産業局長賞

(副賞：10万円)

■ 佐賀大学大学院 理工学研究科 理工学専攻

小嶋 恒 さん

「twels」



学生や教育関係者、研究者をはじめ、数式を扱う全ての人にWebアプリやモバイルアプリとして数式検索エンジンを提供し、彼らが欲しい情報を容易に取得可能にする。自身が数学の課題で悩んだことをきっかけに開発した数式検索エンジンのプロトタイプを改良し、無料で提供。フリーミアムと広告モデルによって収益を得る。

★ 九州経済連合会長賞

(副賞：8万円)

■ 長崎大学 薬学部 薬学科

李 明恩 さん

「地域薬局同士の医薬品在庫二次流通システム『ヤクカリ』」



「ヤクカリ」は近くの(6-10km以内)薬局同士、要らなくなった医薬品在庫を販売するマーケットプレイスを、ウェブ・アプリで提供するビジネス。販売手数料が基本的な収益で、マーケットプレイスをフックビジネスとして、薬剤師プラットフォームを作り、メーカー、人材会社から情報共有、広告掲載を通して利益を取る。

6. コンテストの結果

★ NICT賞

(副賞:「起業家甲子園」挑戦権)

「起業家甲子園(全国大会)」
ソフトバンク賞 受賞

■ 北九州工業高等専門学校 専攻科 生産デザイン工学専攻 代表: 笛 凌太郎 さん

「AR技術を活用したダイバー育成のための研磨手順表示システム」



画像処理やAR技術を用いて研磨手順を表示する新人ダイバー育成システムを提案し、ダイバーの負担軽減や、人材育成時間の短縮を目的とする。現在、社会問題である労働人口の不足や熟練者の技を受け継ぐ役割としてシステムを提供する。傷を撮影するロボットとARグラスに搭載した研磨手順マニュアルを販売する収益モデルである。

★ 優秀賞 6件

(副賞: 5万円)

※最終審査会 発表順に掲載

■ 九州大学大学院 経済学府 産業マネジメント専攻

代表: 鬼崎 美緒 さん

「『Share Pick!』シェアリングエコノミーサービスの比較総合サイト&アプリ運営事業」



忙しいビジネスパーソンをメインターゲットに、月額360円の定額制で、スマートで使いやすいシェアエコサービスの比較総合サイト&アプリの運営を行う。また認知向上などに悩むサービス事業者のために、顧客情報分析を踏まえたコンサルタント事業を提供。メインビジョンは「シェアをもっと、スマートに」。

■ 北九州工業高等専門学校 専攻科 生産デザイン工学専攻

代表: 岡部 唯人 さん

「病院内での歩行案内支援ロボット」



新型コロナウイルスの流行により大きな問題となっている医療従事者の人材不足、休職や離職などの改善策として医療現場のロボット導入を考えた。ロボットが可能な作業の観点から「病院内での移動」に着目し、その案内、サポートを行うビジネス。ロボットの導入や開発、メンテナンスでこの事業での役割を担う。

■ 宮崎公立大学 人文学部国際文化学科

代表：森山 陸 さん

「ALL HOME」



児童養護施設職員の3年以内離職率は49%。この問題を一つのビジョン特化型の求人プラットフォームで複数の児童養護施設を比較可能にすることで解決。各施設のビジョンに共感する就職者の採用をサポート、結果的に施設で暮らす児童が過ごしやすい環境づくりにつなげる。各施設設法人からの求人掲載料と採用コンサルの2本柱で収益化。

■ 筑紫女学園大学 現代社会学部 現代社会学科

代表：帆足 有香 さん

「天使のお便り」



「必要最小限の量で自分に合った複数種類のナプキンを使い分けたい」「お店でナプキンを買うことに抵抗がある」「ナプキンの購入・持ち歩くのを忘れてしまう」等、生理用品の使用や購入に関する課題を解決のための生理用品の月額制販売ビジネス。生理用品を仕入れ、ユーザーへ定期便で届けるサービスで、月額利用料から収益を得る EC 事業。

■ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部

代表：伊藤 愛留 さん

「To the world」



日本の小学生から大学生を対象に、世界中の遊びを活用し、APUの学生による多言語の言語教育を提供するサービス。ステイホームの影響もあり、最初の遊びはオンラインゲームで英語を学べるサービスを展開する予定。言語を「勉強」ではなく自分が楽しむ為の「ツール」とする事で長期間の言語学習を実現。料金は9000円で月4回の月額制で提供予定。

■ 熊本大学 工学部 材料応用化学科

代表：五木 結愛 さん

「かまくら」



「手を洗う人類」に、「手洗いの新しい概念（固形石鹸を削る装置）」を「店頭およびネット」によって販売する。本事業においては、私は企画立案から販売までを総合的に統括する。収益は、商品のリース（ショッピングモールなどが対象）と販売（家庭が対象）の2形式によって得る。

企業や団体の皆様との連携の強化を図るとともに、コンテスト後のフォローや学生の皆様の更なるモチベーションアップの一助として、協賛企業・協力団体の皆様のご協力により「協賛企業等特別賞」を今回新設しました。各賞は、各企業・団体の皆様に選考いただきました。ご提供いただきました企業・団体の皆様ありがとうございました。

■ 九州電力グループ賞	北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学専攻	代表：岡部 唯人 さん
■ J R九州グループ賞	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部	代表：伊藤 愛留 さん
■ 西部ガスグループ賞	長崎県立大学 情報システム学部情報セキュリティ学科	鬼塚 俊佑 さん
■ ストライク賞	九州大学大学院 経済学府 産業マネジメント専攻	代表：鬼崎 美緒 さん
■ 西鉄グループ賞	熊本大学 工学部 材料応用化学科	代表：五木 結愛 さん
■ 日本弁理士会九州会会長賞	熊本大学 工学部 材料応用化学科	代表：五木 結愛 さん
■ F F G賞	長崎大学 薬学部 薬学科	李 明恩 さん



① 九州電力グループ賞 (提供：九州電力株式会社)



② J R九州グループ賞 (提供：九州旅客鉄道株式会社)



③ 西部ガスグループ賞 (提供：西部ガスホールディングス株式会社)



④ ストライク賞 (提供：株式会社ストライク)



⑤ 西鉄グループ賞 (提供：西日本鉄道株式会社)



⑥ 日本弁理士会九州会会長賞 (提供：日本弁理士会九州会)



⑦ F F G賞 (提供：株式会社ふくおかフィナンシャルグループ)

副 賞

- ① リンベル九州の七つ星ギフト ひざかり こだわり九州 いいものめぐり-2
- ② J R九州ファーム厳選ギフト
- ③ 西部ガスグループお取り寄せギフト券
- ④ 事業成長支援サービス「S venture Lab.」1年間無料パス
- ⑤ ホテルギフト券
- ⑥ 弁理士知財キャラバンによるコンサルティング・メンタリング
- ⑦ ECサイト「エンニチ」ギフト券

※ 表記は、提供企業・団体名称順

★ 支援部門賞

2001年(平成13年)に始まった当コンテスト。これまでエントリーいただいた数多くの学生や研究者のみなさんと数々の素晴らしい事業プランに支えられて、おかげさまで今回で第21回目を迎えることができました。さらに歴代受賞者のみなさんは、各地から錚々たるプランが競う全国大会においても優秀な成績を収めていただいております。

一方で、その素晴らしいプランが生み出され続け、当コンテストがここまで継続できましたのは、指導する先生方や協力いただく支援者の皆様あってこそのことです。また、これからも支援していただく皆様のご協力がなければ、継続していくことはできません。

そこで、エントリーする学生のみなさんの支援を通して、当コンテストにおいて顕著な実績をあげられ、起業家育成の基盤づくりに貢献されている方々を表彰することを目的として、当コンテストが第20回を迎えたことを記念し、昨年度新設したのが「支援部門賞」です。

第2回となる今回は、下記のお二人を表彰させていただきました。

■ 長崎県立大学

情報システム学部情報セキュリティ学科 学長補佐・教授 加藤 雅彦 氏

(今回グランプリを受賞した 長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 鬼塚 俊佑さんの支援者)



今回、当コンテストでグランプリを受賞した長崎県立大学・鬼塚俊佑さんの支援者として、受賞いただきました。加藤教授は、鬼塚さんが最初に事業計画を持ち込んだ先生であり、その意思を受け、このプランに協力。さらなる協力者を見つける手助けをされるなど、プラン構築に大きなご支援をいただきました。

■ 北九州工業高等専門学校

生産デザイン工学科 知能ロボットシステムコース 教授 久池井 茂 氏

(長年に渡る当コンテストへのエントリー学生支援並びにファイナリストを多数輩出いただいた功労者)



※右は、北九州高専・本江校長



久池井教授は、北九州高専における学生の指導者として、2010年度から本年度に至るまで、当コンテストに連続12年に渡りエントリーする学生の皆様のご支援をいただくとともに、2度のグランプリ受賞をはじめ、2010年度から本年度まで、計11回のファイナリストプランを輩出いただくなど、当コンテストに多大な貢献をいただきました。

7. 全国大会の結果

■ 第 18 回 キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

結果報告

長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 鬼塚 俊佑 さん 出場

2022 年 1 月 28 日（金）、東京・日刊工業新聞社本社にて「第 18 回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」（主催：日刊工業新聞社）審査会が、また同 2 月 14 日（月）、東京・霞が関の霞山会館にて同大会の表彰式が開催されました。「第 21 回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」からは、グランプリを受賞した長崎県立大学・鬼塚俊佑さんが、九州代表として審査会に出場しました。結果は、残念ながら本年度の入賞はなりませんでした。

長引く新型コロナ禍を受けて、例年は 2 月に同日開催の審査会と表彰式が、今年も日を別け、全てリモートでの開催となりました。また、プランの発表と審査には、登壇者が予め制作した「3 分動画」が採用されました。鬼塚さんのプランは、残念ながら入賞こそならなかったものの、全国 8 地区の大会に参加した総計 792 プランの中からそれぞれ勝ち残ってきた粒揃いの 12 組の 1 つとして、健闘されました。鬼塚さん、長崎県立大学の関係者の皆様、ありがとうございました。

■ 「第 18 回（2021 年度）キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」結果

賞	地区等	学校名	代表者氏名	チーム名	プラン
経済産業大臣賞 ビジネス大賞	大阪大会代表 1	同志社大学	小川 隼史	MENS-truation	MENS-truation ～PeriodタブーにPeriodを～
文部科学大臣賞 テクノロジー大賞	中国大会代表 1	岡山大学大学院	長島 慶樹	株式会社TechSword	ノーコードエッジAIプラットフォーム
教員審査委員賞	北海道大会代表	北海道大学大学院	山石 直也	*****	TiBr（臭化タリウム）半導体γ線センサーの 製造・販売
MIT賞	北海道大会代表	北海道大学大学院	山石 直也	*****	TiBr（臭化タリウム）半導体γ線センサーの 製造・販売
JVCA賞	中部大会代表 1	名古屋市立大学	山田 拓仁	ArtiStation	アート作品ライブコマースサービス 『ArtiStation』
日刊工業新聞社賞	東北大会代表	東北電子専門学校	佐々木 洋輔	*****	「満腹チェッカー」の研究・開発・販売事業
審査委員会特別賞	東京大会代表 2	青山学院大学大学院	藤井 将光	*****	がん等の長期療養者向け就業支援 ～治療と仕事を両立する社会へ～
	東京大会代表 1	創価大学	佐藤 俊一	轍	オンラインカットサービス Wigmeet
	中部大会代表 2	岐阜大学大学院	杉江 萌花	*****	教師のまなびば 教師がもっと輝く世界を
	大阪大会代表 2	京都大学大学院	平井 康介	COMORI	MAKITABA —薪炭売買マッチングプラットフォーム—
	九州・大学発 VBPC代表	長崎県立大学	鬼塚 俊佑	3 DBONE s	3Dモデルを用いた医療支援 全ての人により良い医療を
	四国大会代表	香川高等専門学校	大数賀 こはる	瀬戸内shells	貝が宝プロジェクト ～水質浄化が期待されるあさりで海洋をより豊かに～
	中国大会代表 2	松江工業高等専門学校	足立 健紀	松江高専 学生チーム	ディアログ 音声認識と写真で日誌を作成するシステム

※入賞者以外は、発表順。



審査会の模様（日刊工業新聞社提供）



表彰式（日刊工業新聞社提供）

■ 令和3年度 起業家甲子園（全国大会・第11回）

パートナー企業特別賞「ソフトバンク賞」を受賞！

北九州工業高等専門学校 専攻科 生産デザイン工学専攻 笛 凌太郎 さん

「アクリムラボ ～ AR 技術を活用したダイバー育成のための研磨手順表示システム ～」

2022年3月8日(火)に東京・丸ビルホール&コンファレンススクエアにて開催された「起業家甲子園（全国大会）」（主催：総務省、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT））において、「第21回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」でNICT賞を受賞し、挑戦権を獲得した北九州工業高等専門学校・笛 凌太郎さんのチームが代表として出場しました。

昨年度に続き、今年も残念ながら全てリモートでの審査及び表彰式となりましたが、全国各地の連携大会から選ばれた、笛さんを含む9組のファイナリストが登壇。笛さんのプランは、ICT Mentor Platform メンター・株式会社 jig.jp 福野会長のメンタリングもいただき、昨年12月のコンテストよりさらにブラッシュアップされたプレゼンを行いました。上位入賞こそならなかったものの、パートナー企業特別賞の1つ「ソフトバンク賞」を受賞されました。笛さん、北九州高専の皆様、おめでとうございます。

■ 出場校

選抜地区等	出場学校等	事業名等
全国高専	大島商船高等専門学校	大島商船 農業支援研究会
全国高専	舞鶴工業高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校 プログラマーズコミュニティ部
北海道	北海道岩見沢農業高等学校	開発土木専攻班
東北	東北大学大学院	東北大学 未来型医療創造卓越大学院チーム
信越	長野県松本工業高等学校	籠の中に囚われし電子工学部
近畿	関西大学	Finder
九州	北九州工業高等専門学校	アクリムラボ
九州	崇城大学	Eneclus Design
Webエントリー等	神奈川県立保健福祉大学大学院	CeTrax

■ 受賞結果

賞	提供企業	受賞校
総務大臣賞	大島商船高等専門学校	
審査委員特別賞	神奈川県立保健福祉大学大学院	
パートナー企業特別賞	アイ・オー・データ賞	(株)アイ・オー・データ機器 東北大学大学院
	AWS Japan賞	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(同) 北海道岩見沢農業高等学校
	インフィニオン賞	インフィニオン テクノロジーズ ジャパン(株) 長野県松本工業高等学校
	ABC賞	ABCドリームベンチャーズ(株) 関西大学
	ドコモビジネス賞	NTTコミュニケーションズ(株) 神奈川県立保健福祉大学大学院
	NTTデータ賞	(株)NTTデータ 神奈川県立保健福祉大学大学院
	クラウドワークス賞	(株)クラウドワークス 東北大学大学院
	さくらインターネット賞	さくらインターネット(株) 大島商船高等専門学校
	株式会社jig.jp賞	(株)jig.jp 大島商船高等専門学校
	Z Venture Capital賞	Z Venture Capital(株) 関西大学
	セブテニグループ賞	(株)セブテニグループ・ホールディングス 神奈川県立保健福祉大学大学院
	ソフトバンク賞	ソフトバンク(株) 北九州工業高等専門学校
	DBJ賞	(株)日本政策投資銀行 舞鶴工業高等専門学校
	NEC賞	日本電気(株) 神奈川県立保健福祉大学大学院
	IBM BlueHub賞	日本アイ・ビー・エム(株) 関西大学
	三菱電機賞	三菱電機(株) 神奈川県立保健福祉大学大学院

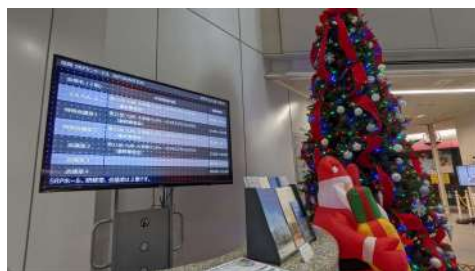


発表の模様（NICT 提供）



会場の模様（NICT 提供）

8. コンテストの様様





9. 基調講演

最終審査会・学生発表終了後に開催した基調講演では、起業を目指す学生などを前に「地方・地域・暮らしからアプローチする事業機会と成長機会 ～ 宮崎で取り組む学生起業支援～」と題して、ご自身も複数の企業を立ち上げ育てた起業家であり、みやざき学生ビジコンの立役者ともいえる宮崎大学・土屋 有先生（昨年度「支援部門賞」受賞）にご登壇いただきました。これまでの基調講演にない趣向を凝らした展開や興味深いお話に、会場・Web とともに一体となって盛り上がりました。



■ 演 題

地方・地域・暮らしからアプローチする事業機会と成長機会
～ 宮崎で取り組む学生起業支援 ～

■ 講 師

国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部 准教授
宮崎・学生ビジネスプランコンテスト 統括

つちや ゆう
土屋 有 氏

■ プロフィール

1980 年宮崎出身。大学在学中にベンチャー企業取締役となり上場。その後、医療・介護ベンチャー起業（売却）、面白法人カヤック事業部長、株式会社アラタナ（現 株式会社 ZOZO、株式会社 ZOZO テクノロジーズ）取締役を経て宮崎大学の教員に。宮崎大学では「宮崎・学生ビジネスプランコンテスト」及び関連するプログラムを企画・運営し現在統括として取り組む。

国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部 准教授（2021～）
多摩大学大学院経営情報学研究科 客員教授（2014～）
国立大学法人長崎大学
FFG アンタレプレナーシップセンター 非常勤講師（2020～）
株式会社ミライラボ 取締役（2019～）
Community Nurse Company 株式会社 取締役（2020～）
株式会社油津応援団 取締役（2020～）
株式会社 Smolt 取締役（2020～）
MRT ラジオ パーソナリティ（2021～）

